

## 2019 年度特定研究奨励金 報告書

### 報告者所属・氏名

所属	生活環境学科	氏名	塚崎 舞
----	--------	----	------

### 奨励金による研究活動・実績（具体的に記載）

- ・従来本学に所蔵がない、または破損するなどして研究に必要な器具(マイクロピペット、ガスクロ用マイクロシリンジ、遮光バイアル、簡易 pH メーター等) や試薬を新たに購入し、汚染の危険性を最小限に抑えた環境で、研究で使用する精度の高い反応試薬の調製および実験を進めることができた。
- ・反応試薬のうち、少量で非常に高額なビスニコニン酸ナトリウム、牛血清由来アルブミンの購入ができ、本学での研究用汚染布作成が可能となった。
- ・海外製品のため高額となる人工汚染布（Swissatest 製）を購入することができ、国内製品の人工汚染布との比較対象とすることができた。
- ・研究用汚染布または比較対象として用いる白布の保管に必要なデシケーターを購入し、湿度コントロールが可能な条件で保管する環境を整えることができた。

以上により、実験に必要な物資が整うことでスムーズに実験を進めることが可能になり、2019 年度中に学会発表を 3 件、英語論文を 1 本投稿（2020 年 2 月末現在受理）することができ、研究実績の向上につながった。

さらに、研究データの整理のため化学用計算・データ処理ソフト(カレイダグラフ、Chem Draw)を購入し、同ソフトを所有する共同実験者とのデータのやり取りが活発化したことで、研究に関する情報交換する機会が増えた。今後、これらのソフトは、より説得力のある発表データの図の作成のため、大いに活用していきたい。

現段階では、2020 年度 5 月の学会発表とする実験データをとることができており、さらなる研究実績のため、論文執筆の準備（空気非接触系における基質直接定量法について）も進めている。研究成果として未発表のデータもあるが、今後、本奨励金により購入した器具等を活用して、科研費の獲得につながる成果をあげていきたいと考えている。